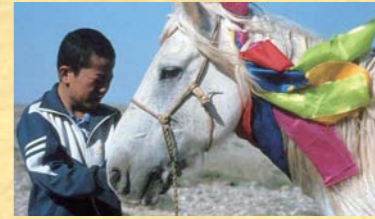




『白い馬の季節』



movie

モンゴルというと、青々とした大草原のイメージがありますよね？でも、この映画に映し出されている内モンゴル自治区は、ところどころにしか草が生えていない、果てしない黄土。草原は近年、砂漠化の一途をたどっているのです。監督、そして主演をとめるニツアイは、自身もモンゴル族の出身。放牧生活が立ち行かなくなり、町で暮らすことを余儀なくされた一家が、大切な白い馬を手放すという物語に、遊牧民の現状が投影されています。10月6日より、岩波ホールにてロードショー。

http://www.shiroiuma.jp 配給:ワコー/フォーカスビジュアル

『地球のためにわたしができること』



枝廣淳子著/大和書房

book

この本の著者、枝廣淳子さんは、アル・ゴア元アメリカ副大統領のドキュメンタリー映画『不都合な真実』書籍版の訳者としても知られる、環境ジャーナリスト。——と聞くと、なんだか難しい本のような気がするけど、そんなことはありません。日本で1日に使われているトイレトペーパーをつなげると、赤道を10周してしまう。など、分かりやすい表現で、私たちが日頃、何気なく使っている資源の多さに触れています。枝廣さんおすすめのエコアイデアも満載で、目からウロコのエッセーです。

東京朝市・アースデイマーケット2007



event

代々木公園やき並木で、月に1回ほど開催されている、東京の朝市。原料や産地にこだわった食材を、生産者が直接販売するというシステムで、マーケットはいつも活気にあふれています。さらに、ここではエコでおトクな体験ができるのも魅力。使用済み天ぷら油など、資源の回収に協力したり、マイバッグを持参すると、所定のお店で通貨として使えるアースデイマネー「」がもらえます。次の開催日は、10月21日。エコ・コミュニケーションが広がるイベントです。

http://www.earthdaymoney.org/market

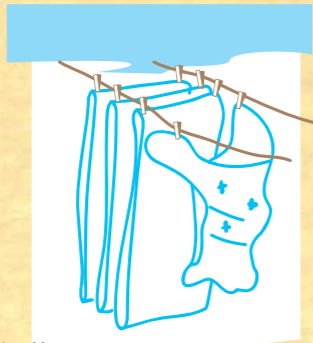
エコ生活のもと

全国のエコファミリーが教えてくれた、毎日の暮らしをちょっとエコにしてくれるアイデアをご紹介します。

トイレトレーニングのすすめ

ポパイ&オリーブさん

その1



2歳1カ月の娘はトイレトレーニングし、この夏、見事紙おむつから布おむつに切り替わりました。今まで、可燃ゴミのほとんどが使い終わった紙おむつだったので、一気にゴミの量が少なくなりました。2歳前後のお子様をお持ちの方は、布おむつでトイレトレーニングしてみたいかですか？紙おむつ代もかからなくなり、経済的にも助かりますよ。

冷蔵庫のクリーンナップ日を決める

よしあきともいきさん

その2



我が家では、週末はできるだけその時に冷蔵庫に入っているものを使って食事を作り、食材を使い切ってしまうようにしています。そうすれば、ずっと入れっぱなしのものを無くすことができ、品質が悪くなって食材を捨ててしまうこともなくなります。しかも、冷蔵庫の中がスッキリして保冷効率が上がり、省エネにもつながります。

洗濯機の全自動モードを見直そう

MINKYさん

その3

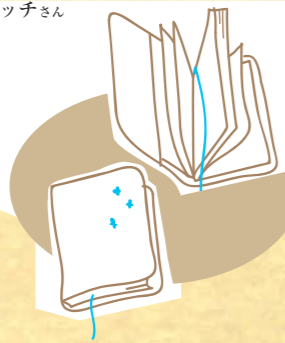
いったん、スイッチを入れると自動で洗濯が終了する便利な自動運転モード。何回、すすぎをしているか知っていますか？我が家は3回でした。そこで、個別モードに切り替えて、すすぎ回数を減らす実験を開始しました。また、洗剤を使わなくてすむというセラミックボールも利用することに。しばらくこれで様子を見ます。



本の包装について

サンドイッチさん

その4



本屋さんでは、雑誌はビニール袋や紙袋に、また単行本はカバーをかけるのが昔からセットになっているように思えます。最近、本屋さんのレジで、雑誌は「包装不要です」、また、単行本もお気に入りのカバーがあるので「そのままいいです」と言えるようになってきました。ちょっとしたエコでしょうか。

イラストレーション/tattaka

注 環境省では「我が家の環境大臣事業」を通じて、環境にやさしく暮らしを心がけるエコファミリーを応援しています。エコファミリーウェブサイト <http://www.eco-family.go.jp> 今回ご紹介したアイデアは、エコファミリーから寄せられたエコライフアイデアを、一部内容を編集して掲載しています。